

【4月期通学課程・定期交流事業スタート／4月期通学课程 定期交流事业开学】



令和7年度、当センターの運営が愛知県厚生事業団より中国残留孤児援護基金になりました。新所長の新津を迎え、今後も以前と変わらず、1世代の高齢化や2・3世代の増加など、帰国者の多様化にも対応し、帰国者のニーズに合わせた日本語学習支援事業、交流事業、相談事業を行ってまいります。

令和7年、本中心の运营由爱知县厚生事业团体变为中国残留孤儿援助基金。在中心的新所长新津的带领下，今后本中心的运营也没有改变。在面临1代的高龄化及2代・3代的增多等情况下，我们会针对归国者的多样化需求，安排日语学习支援活动，交流活动，相談活动。

【『楽楽サロン』がスタート「乐乐沙龙」开始了】



日本語で学びながら楽しく交流する『楽楽サロン』が、好評のため、10月期に続き4月期も開講されました。4月24日（木）の第1回では、皆で楽しく「母の日の折り紙飾り」を作りました。参加者たちはカーネーションを1人5個ずつ作って、最後に台紙に貼って大きい花のリースにしました。また、5月8日（木）の第2回では、「家族の団らん」を意味する紫陽花を創作しました。参加者は11名でした。日本の季節の移ろいを楽しみながら、彩りや癒しを感じる梅雨を迎えられそうです。楽楽サロンの作品はセンターと日本棋院会館の1階ロビーに展示されています。



『乐乐沙龙』，是以大家可以一边学日语一边开心的交流为目的，因为10月期受到了大家好评，所以4月期也继续举办。4月24日(周四)举办了第1次，这次的主题是大家一起开心制作「母亲节折纸康乃馨」。大家每个人各做了5个康乃馨后，最后将它们贴在衬纸上，变成了一个大的花环。5月8日（周四）举办了第2次活动。这次是以「家庭团圆」为主题制作了紫阳花。参加者是11名。大家可以在享受日本季节变化的同时，用紫阳花的色彩和治愈力迎接即将到来的梅雨季节。乐乐沙龙的作品摆放在了本中心和日本棋院会馆的1楼大厅。

第38号



公益財団法人 中国残留孤児援護基金
とうかい ほくりく
東海・北陸
ちゅうごくきこくしゃしえん こうりゅう
中国帰国者支援・交流センター

東海・北陸センターの機関誌に「花好月圆」という名前を付けました。その意味は花が咲き、月が満ちることです。家庭の幸せや人生の円満を表します。東海・北陸中心の刊物取名为「花好月圆」。它的寓意是花儿是美的，月亮是圆的。比喻家庭的幸福及人生的圆满。

〒461-0014 名古屋市東区榑木町1-19
日本棋院中部会館 6階
☎(052)954-4070 Fax(052)954-4071
☎(052)954-4066(中国語可)
E-mail:toukai-hokuriku@sien-center.or.jp
https://toukai-hokuriku.sien-center.or.jp

【着任のごあいさつ／赴任致词】新津所長



皆さん、初めまして、4月1日からセンターの所長に就任しました新津と申します。永らく中国残留邦人の支援に携わっていますが、“新人”「しんじん」=[XinJin] (新津)です。今年度から東海・北陸中国帰国者支援・交流センターの運営が、愛知県厚生事業団から東京に本部のある中国残留孤児援護基金に変わりました。私は、センターの所長と中国残留孤児援護基金の常務理事を併任しています。今年には戦後80年の節目を迎えます。中国残留孤児援護基金も、中国残留孤児や中国帰国者などの支援を行って43年になりました。この機に改めて、中国帰国者支援のあり方について、考える時期に来ていると思っています。

これからも、センターの講座と事業が少しでも皆さんの役に立ち、皆さんの幸せにつながることを願います。スタッフとともに中国帰国者のサポートに務めてまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

大家好，我是4月1日上任的新所长新津。我虽然长久从事中国残留孤儿的支援活动，但我还是新人【中文新人的日语发音（しんじん和我名字新津的中文发音（Xinjin）相同】。从今年开始，东海・北陆中国归国者支援・交流中心的运营由爱知县厚生事业团移交给总部的东京中国残留孤儿援助基金。我担任本中心的所长并兼任中国残留孤儿援助基金的常务理事。今年迎来了战后80周年。中国残留孤儿基金也对中国归国者提供了43年的援助。以这一契机，我认为现在也是要重新思考中国归国者支援方式的时期了。

今后也希望中心的讲座及交流事业活动可以帮助到大家，给大家带来幸福的生活。我会和中心的员工一起做好中国归国者的支援工作。请大家多多关照。

～新体制の職員紹介～

～新体制的员工介绍～



企画主任：忠政



教務主任：原田



相談員兼通訳：中村



職業相談員兼通訳：本村